

後期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。

保護者の皆様には、1月の後期「学校評価アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。

後期の学校評価は、保護者や教職員、学校運営協議会委員、児童生徒アンケート、授業参観等でいただいたアンケートの結果を、前期の結果と比較して分析しました。紙面では、保護者アンケートの結果を「保護者全体」と「学部別」で、教職員の結果は「教職員全体」として前期後期を比較できるように表にして掲載しています。教職員と保護者全体の結果は比較したグラフにし、児童生徒のアンケート結果は表にして、本校ホームページに掲載いたしますので、別途ご覧ください。

後期学校評価アンケートの自由記述欄でいただいたご意見も全て、全教職員に周知しております。また、分析結果を学校運営協議会委員の皆様にも報告します。皆様の貴重なご意見を、これからの教育活動に生かし、課題解決に向けて取り組んで参ります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

<後期学校評価アンケート結果分析について>

◎方法 各項目について「実現度」を5段階で回答。(児童生徒は実現度のみ)

◎回答率 * 1家庭に1枚配布

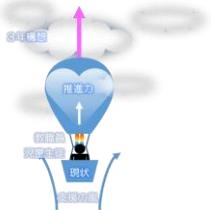
	保護者		児童生徒		教職員	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
回答数	139	136	95	86	131	130
回答率	77.7%	76.5%	51.3%	46.4%	100%	100%

◎表について

・実現度が上がった項目を□で着色し、5%以上下がった項目を□で囲って表示。

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために個々の可能性を最大限に伸ばす



めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願や夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

【表】

質問項目	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員	
	前期	後期								
◆自分の心や体を大切にする人口										
・学校は、健康維持や体力づくりに十分取り組んでいる	87.9%	97.2%	97.0%	94.2%	90.8%	93.8%	91.6%	94.8%	94.2%	92.9%
・学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる(「しんどい」ことを伝える、薬を飲む等)	75.8%	80.6%	78.8%	79.4%	89.4%	90.8%	83.9%	85.1%	91.6%	94.5%
・児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている	72.7%	72.2%	69.7%	64.7%	77.2%	76.9%	74.1%	72.4%	86.6%	91.4%
◆人を大切にし、共に生きる人口										
・学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる(校内、地域等)	90.9%	94.5%	90.6%	97.0%	83.3%	95.4%	87.7%	95.5%	80.6%	95.3%
・学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている	81.8%	83.3%	72.8%	79.1%	84.9%	86.2%	81.6%	83.5%	88.2%	93.8%
・児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している(校内、地域等)	87.9%	88.9%	84.9%	91.2%	78.7%	92.3%	83.2%	91.0%	84.7%	93.0%

質問項目	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員	
	前期	後期								
願いや夢に向かってすすむ人										
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している	69.7%	85.7%	81.3%	94.0%	89.4%	96.9%	83.1%	92.5%	86.4%	91.4%
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿の実現に向けて包括支援プランを作成している	81.8%	91.7%	93.9%	97.1%	92.4%	92.3%	90.9%	93.3%	89.0%	93.0%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている	69.7%	86.1%	75.7%	85.3%	84.8%	95.3%	79.4%	89.6%	86.4%	93.0%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている	60.6%	75.0%	63.6%	80.6%	83.0%	90.8%	71.7%	83.6%	77.1%	89.0%
・児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	81.8%	77.8%	75.8%	77.6%	77.3%	81.6%	78.6%	79.1%	76.9%	89.9%
◆負けない心をもってすすむ人										
・学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている	87.9%	88.9%	78.7%	83.6%	81.9%	89.2%	83.2%	87.3%	82.9%	93.8%
・児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている	84.9%	88.9%	63.3%	80.6%	81.8%	89.2%	78.9%	86.6%	86.3%	91.4%
◆役割を担い、役に立とうとする人										
・学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている	90.9%	91.6%	86.7%	85.3%	84.8%	93.8%	87.6%	91.0%	92.2%	96.9%
・児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している	81.9%	86.1%	80.0%	82.3%	74.2%	89.2%	78.2%	86.6%	90.5%	94.5%
◆挨拶をする人										
・学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる	90.9%	91.7%	83.9%	97.0%	84.9%	90.8%	87.6%	92.5%	94.1%	93.0%
・児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしている	81.9%	88.8%	80.6%	91.2%	84.8%	95.4%	85.9%	92.6%	90.5%	93.0%
◆ルールや約束を守る人										
・学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている	84.9%	86.1%	71.0%	85.3%	81.8%	92.3%	80.5%	88.9%	92.2%	93.7%
・児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している	72.7%	77.7%	71.5%	79.4%	80.3%	87.7%	76.4%	82.9%	88.9%	89.8%
◆全体に関すること										
・学校は、児童生徒の健康・安全を守っている	84.9%	88.9%	71.0%	100%	95.4%	98.5%	92.1%	96.2%	95.7%	94.6%
・学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている	81.8%	86.1%	71.5%	97.1%	92.3%	97.0%	89.8%	93.2%	86.3%	96.1%
・学校は、授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒の指導や支援をしている	87.9%	94.2%	71.0%	98.5%	84.7%	95.4%	87.4%	94.8%	92.2%	93.8%
・学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている	90.9%	94.5%	71.5%	98.4%	89.3%	98.4%	90.5%	97.1%	89.7%	92.1%

<アンケート結果分析>

(1) <自分の心や体を大切にする人>

「児童生徒が自分の心や体を大切にしようとする力」を育てることに課題が残った。
引き続き、児童生徒一人一人が自分の心身に意識を向けて過ごせるよう
児童生徒の課題に応じて、丁寧に指導をしていく。

<自分の心や体を大切にする人>の取組全体に対しての実現度の肯定的な回答（以下：実現度）は、保護者全体・教職員全体共に2%程度のUpが見りましたが、「児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている」の項目に対しては、各部で実現度が前期より下がりました。特に、中学部では、少し低い回答となりました。前期と比較して、保護者の「わからない」とする回答は、わずかながら改善しましたが、まだまだ児童生徒の姿として表れていないことが分かりました。引き続き、生徒の心身の変化や、毎日の体調管理に心を配り、保護者

や保健室と連携を取りながら、丁寧な指導ができるようにしていきたいと考えます。

(2) <人を大切にし、共に生きる人>

校内外で、様々な人との触れ合いを通して、たくさんの経験を重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていく。

「**学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内、地域等）**」の項目に於いては、高等部の保護者と教職員全体の実現度が前期より 12%、15%と上がりました。

前期中学部保護者の実現度が 72.8%と低かった「**学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている**」の項目に於いては、後期はわずかですが実現度が上がりました。一方で、保護者の「わからない」「あまりできていない」とする回答が 17.6%あり、取組の成果がまだ表れていないことや、取組の様子が十分に保護者に伝わっていないことがわかりました。いろいろな人と関わって、自分らしく活動できることは、卒業後の生活の中でとても大切な力となります。これからも、校内外で、様々な人との触れ合いを通して、たくさんの経験を重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていききたいと考えます。

(3) <願いや夢に向かってすすむ人>

個別の包括支援プランを基に「児童生徒が、願いや夢に向かって生き生きと学習している」という姿を引き出す授業づくりができるよう、引き続き取り組んでいく。

「**学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている**」の項目に於いて、後期は小学部・中学部の保護者の回答がそれぞれ 15%程度も実現度が上がり、「わからない」という回答が 10%以上減りました。この結果から、将来の進路に向けた情報発信・情報共有が改善されたことが伺えます。しかし、実現度はまだ低い回答となっています。児童生徒にとって必要な情報が伝えられるよう、情報発信の方法を検討していく必要があると考えます。児童生徒アンケートでは、「学校の授業内容は、良くわかる」の項目に於いて、実現度は 92%から 98.8%に上がっています。授業参観時のアンケートでも、「生き生きと活動していますか」の出来ているとする回答（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた回答：以下同じ）（無回答を除く）は前期から引き続き 100%でした。これからも、一人一人の目標を明確にして、児童生徒の目標が達成できるように、児童生徒が生き生きと活動できる授業づくりに励んでいきたいと思ひます。

(4) <負けない心をもってすすむ人>

児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう引き続き、ユニット会や授業担当者会を通して、授業内容や指導・支援方法について検討し取り組む。学習や児童生徒の様子を、保護者に伝えていけるよう懇談会の機会を生かす。

特に、「**児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている**」という項目では、中学部保護者の実現度が 17%上がりました。これからも、ユニット会や授業担当者会を行い、授業内容や指導・支援方法について検討したことを指導に生かし、学習時の児童生徒の様子を、懇談会等で保護者に伝えていけるようにしていきたいと思ひます。

(5) <役割を担い、役に立とうとする人>

児童生徒が様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している姿を共有するために、「何のために」「何を」「どのように」取り組んでいるのかを保護者に伝えていく。

「**児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している**」という項目に於いて、高等部の保護者の実現度が 15%上がりました。児童生徒アンケートでは「学校で、当番や係活動に頑張っている」項目に於いて実現度は 95.4%から 97.6%に上がりました。前期の学校評価アンケートの結果を教職員で共有し、改善できた表れではないかと考えます。引き続き、「何のために」「何を」「どのように」取り組んでいるのかを明確に保護者に伝えていけるよう、この結果を次に生かしていきたいと考えます。

(6) <挨拶をする人>

児童生徒は、自分なりの方法で挨拶ができている姿が 88%以上見られた。これからも、気持ちの挨拶ができるよう、日々の挨拶の機会を大切にしていきたいと思います。

実現度は小学部の保護者の回答が 88.8%で、その他の保護者の各部の実現度は 90%以上となりました。前期よりもさらに、児童生徒は自分なりの方法で挨拶ができている様子が伺えます。これからも、日々の挨拶の機会を大切にして、児童生徒の姿を伸ばしていきたいと考えます。

(7) <ルールや約束を守る人>

学習を通して培った力が、家庭や地域生活の中で生かせるよう、
これからもたくさんの経験をしながら、学習を積み重ねていく。

前期同様、「**学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導している**」という項目に於いては、教職員の出来ているとする回答が 93.7%と高く、学校では日々の生活や授業を通して取組を進めています。そして、「**児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している**」という項目に於いて、保護者の実現度が 76.4%から 82.9%に上がり、教職員も 88.9%から 89.8%に上がりました。児童生徒アンケートの実現度も 96.6%から 97.6%に上がりました。この結果から、学校での取組が、家庭や地域社会の中で少しでも生かされたことが分かりました。これからも、学校生活や授業を通して、自分はどうのように行動するのが良いかを考え、自分で行動できるようになることを目指して学習を重ねていきます。

(8) <全体に関すること>

学校が児童生徒の「健康や安全を守る」、「児童生徒を愛し、人権を大切にする」、
「熱をもって指導や支援をする」ことを通して、
児童生徒との信頼関係や、保護者との信用を築き、指導の実績を積み重ねていく。

教職員が、児童生徒の「健康や安全を守る」ことや、「児童生徒を愛し、人権を大切にする」こと、「熱意をもって指導や支援をする」ことは、必要不可欠なことです。

「**学校は児童生徒の健康・安全を守っている**」の項目に於いて、中学部の**保護者の回答が 100%**でした。この項目には、毎日の児童生徒の健康管理や、学習環境の整備、避難訓練や緊急時の対応等、様々な視点があると考えます。いただいた評価をこれからも繋いでいけるよう、教職員で結果を共有していきます。

<全体に関すること>の各項目全てに於いて、20%以上も実現度が上がる結果がありました。この評価を落とすことなく、これからも教育活動全般に、誠意と熱意をもって取り組んでいきたいと思えます。

自由記述欄では保護者・教職員から、具体的なお意見をいただいています。指導方法については、教員は児童生徒が分かるように伝えていくことが大切な事だと言えます。言葉遣いや指導方法については、適切な指導とあたたかな人間関係が築けるように、教員間で日々の指導を振り返り、改めて心がけていきたいと思えます。

< 保護者自由記述より(抜粋要約) >

- ▼あまり苦手な事に取り組んでいる姿を見ない。いろいろな学習に取り組んでほしい。
- ▼先生の生徒に対する厳しい声を聞いたことがある。日々一生懸命、真剣に生徒と向き合っているがゆえの行動であると願いたい。指導者は、子ども達はもちろん我々保護者の拠り所である。誇りをもって誠実に子ども達と向き合っていたらいいと思う。
- ◎個人の成長をしっかりサポートしてくださっている。
- ◎色々な事に取り組んでいる。個々の意見や質問にも答えてもらい、子ども自身も学校が楽しいと思っている。
- ◎学校がたのしくて 休みたいと思ったことがなかった。友達とも、はなしができるようになり、ずいぶん成長できたと思う。

< 教職員自由記述(抜粋要約) >

- ・児童生徒名を呼び捨てや「ちゃん」づけにせず、「～さん。」と呼ぶことが大切。児童生徒 1 人 1 人を大切に、人権を守るという意識から、呼び名に気をつけていきたい。
- ・性教育を充実させ、児童生徒の人権を大切にする取組を進めていきたい。
- ・児童生徒の安全・衛生面の配慮として、校内の整理や清掃を今以上に取り組んでいく必要がある。
- ・専門職員として教職員と共に、児童生徒の学習に携わってきた。体の不思議や運動機能の魅力をもっと伝えていけるように工夫していきたい。